

国際交流サロン

6月は「ビールの発祥地探し」です。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

モノ/コト	ビール
発祥地	メソポタミア（現代のイラク周辺）。大麦のパンが製造されると、固くなったパンを粉にして、水でふやかし、麦芽を発酵させてアルコール飲料にしたことから始まりました。 蜂蜜やナツメヤシを製造過程で加えて、アルコールの濃度を増したり、風味をつけたりしていました。
いつごろ	紀元前2050年の粘土版にビール醸造についての最古の記録があります。
誰がはじめたか	メソポタミア文明のシュメール人が大麦を原料に製造しました。後の古代エジプトにはビールの製造の様子を表現した壁画があります。ピラミッド建設職人の配給食糧として、ビールは、日常的な食物飲料であったようです。



総会の写真

国際交流情報

8月3日（土）・4日（日）

外国人夏祭り交流会

会場：笠間市内祇園祭会場

時間：午後4時30分～9時

☆7月の日本語教室の開講日

7月6日（土）・13日（土）・20日（土）

（友部公民館 午後1時～）

外国人夏祭り交流会の参加者募集

8月3日（土）・4日（日）に笠間市国際交流協会では、外国人夏祭り交流会を開催します。笠間の市民と祭りとおして国際交流をはかり、日本の伝統文化を身近に体験できます。希望する外国人の方は浴衣や、はっぴの着付けのサービスが受けられます。行幸会の協力で神輿を担ぐ体験もできます。参加希望の方は、7月20日（土）までに協会にお電話ください。7月からは笠間市国際交流協会facebookでの参加申し込みができます。

問合せ：一般社団法人 笠間市国際交流協会 TEL090-2761-8711（木村 美枝子）

市長コラム

条例

本年3月議会および4月に臨時議会を開催し、空き家条例の制定および残土条例の全部改正をいたしました。

空き家条例については、少子化による人口減少が進行する中、適正に管理されていない空き家が増加し、景観上や安全上の問題が発生しています。この条例制定により、持ち主に対しての助言及び指導、勧告、改善命令ができるようになりました。そして、これらに従わない場合、持ち主の住所・氏名・空き家の所在地などの公表を行っていきます。なお、空き家の管理が困難で取り壊す場合には、上限30万円までの補助金制度



▲ 老朽化した空き家

を設けました。

現在、笠間市内には、統計上4,270件の空き家が点在しているとされており、すでに多くの市民の方から不適正な管理の空き家について、情報が寄せられています。

次に、残土条例については合併時に制定されていた条例の全般的な見直しを行い、規制の強化を図りました。改正後は、土地の埋立て等を行う場合に市との事前協議が必要となり、搬入できる土砂の性質やその土砂に含まれる有害物質の調査について、明確な基準を設けました。また、定期的な埋立て区域の土壌調査と報告を義務化するとともに、罰則の強化を図りました。

この見直しにより、県内でも厳格な内容の条例となり、違法な土砂の持ち込みに対し、厳正に対応してまいります。

本市では、さまざまな条例が制定、運用されていますが、条例によってすべての課題が解決する訳ではありません。条例は、住民の皆様が快適な生活を送ることができる環境づくりが目的です。条例の運用に当たっては適正、厳格な対応と、関係機関との連携を図っていくことが必要と考えます。

笠間市長
山口伸樹